※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの成長と遊び	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幼児の遊びを豊かにする文化財の制作を通して、子どもの世界を知り、理解を深めましょう。子どもの発達と遊びの重要性について理解しましょう。作品を制作する授業なので授業に出席しコツコツと作業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

（1）子どものおもちゃや児童文化財について、なぜ必要なのか、どんな特徴があるのかなどについて知る。子どものおもちゃの製作を通して、器用さ、丁寧さを身につける。
（2）子どもが遊びやすくなるように、子どもにわかりやすくなるように、どうすればよいかを考え作品に表現することができる。
（3）自分の作品を客観的に見て作業を改善していくことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どものものの見え方や考え方、発達の時期や進み方について理解する。子どもの成長には遊びが欠かせないことを理解し、遊びを支える児童文化財の重要性を知る。子どものおもちゃの作成を通して、折り紙やハサミの使い方、手先の器用さ、作業をするときの丁寧さなどを身につける。	授業内の作品制作について、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、作品制作に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４月（10月）	子どもの文化財の制作	オリエンテーション 壁面(春) 折り紙(4月) 折り紙(5月)	a:制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けするなどの基本的な技術を習得する。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品	アレンジ	振り返り 実習態度
５月（11月）		折り紙(6月) 折り紙(7月) 折り紙(8月) 壁面(梅雨) ひも通しのおもちゃ制作① ひも通しのおもちゃ制作② ひも通しのおもちゃ制作③	a:制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けするなどの基本的な技術を習得する。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品	アレンジ	振り返り 実習態度

※令和４年度以降入学生用

６月（１２月）		折り紙(10 月) 折り紙(11 月) 折り紙(12 月) ひも通しのおもちゃ制作④ ひも通しのおもちゃ制作⑤ ひも通しのおもちゃ制作⑥ 壁面(夏)	a:制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けするなどの基本的な技術を習得する。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品	アレンジ	振り返り 実習態度
７月（１月）		折り紙(1 月) 折り紙(2 月) 折り紙(3 月) ひも通しのおもちゃ制作⑦ ひも通しのおもちゃ制作⑧ ひも通しのおもちゃ制作⑨ 壁面(秋)	a:制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けするなどの基本的な技術を習得する。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品	アレンジ	振り返り 実習態度

※令和４年度以降入学生用

８月（２月）		紋切型（カレンダー表紙）	a：制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けするなどの基本的な技術を習得する。 b：作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c：子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品	アレンジ	振り返り 実習態度

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度